

岡山の子育てファミリー&ママのライフスタイル応援!

# Funda Club 0円

ご自由にお持ちください

TAKE FREE!

ファンダクラブ 2008 Autumn

パパママにうれしいお役立ち情報満載



情報の  
ページ

岡山県  
岡山市  
倉敷市  
総社市  
玉野市

## 巻頭特集

ボーイスカウト子育て術  
みんなで育てるたくましい心

## 秋の特集満載

七五三特集

おすすめ倉敷市のスポット  
倉敷市特集+市長訪問

先生おしえて!

ちょっと気になる

Kidsおけいこ

大人ごはん+離乳食レシピ

ボリュームアップ図書館情報

秋のアウトドア特集

編集部発早耳情報

読者プレゼント





# みんなで作てる たくましい心

ボーイスカウト  
**boy-scouts**  
<http://www.momonet.jp/boy-scouts/>

「ボーイスカウト」って聞いたことがありますか？  
言葉は知っていても、実際にどんなことをするのか知らないという人も多いことでしょう。  
「ボーイスカウト」は、1907年、イギリスから始まりました。ロバート・ベーデン・パウエルという人が、青少年の健全育成を目指して創設し、現在、217ヶ国に団員は2千800万人といわれ、世界中でその運動が繰り広げられています。

## 「ボーイスカウト」を知っていますか？

「どうすれば、たくましい体と心を持ち、社会に出てくじけない子に育つのか？」と一人で悩むことが多くなった今、こんな日曜日の過ごし方もあることを知ってください。みんなの力を借りれば、子育ても楽になります。

周囲に豊かな自然があり、木に登ったり、川で遊んだり、子どもたちがたくましく育っていた時代もありました。けれど現在は、公園で遊ぶだけでも心配やトラブルが絶えません。  
その上、核家族化、少子化が進み、大勢の兄弟にもまれて育ったり、近所のおじさんに叱られたりと、早くから社会を意識することも少なくなっています。

もちろん、日本にもボーイスカウト日本連盟があり、19年度末で17万4千380名の加盟員総数を誇り、岡山県には23の団があります。  
では、このボーイスカウト、どんな活動をしているのでしょうか？

具体的な活動は、それぞれの団で決められますが、一言で言えば「野外活動を通して、健全な少年少女を育てるための活動を行っています」。

もう少し具体的に言えば、キャンプやハイキング、奉仕活動などを行います。

これは主に日曜日や土曜日に行われ、その回数は団によって違います。

次にその加入条件。幼稚園の年長（小学校入学前）の9月から、小学生から大学生まで、男の子も女の子もいつでも入団することができます。そして、入団してからの費用は登録費用が毎年3千800円。後は、それぞれの団の活動によって変わってきます。また、いつでも見学や体験入団が可能です。

さあ、これで意外と身近になった「ボーイスカウト」。もっともっと役立つ情報がありますよ。

団員やその保護者のみなさんの言葉に耳を傾けてみませんか。



### 個性を育て、夢を育て

指導者 小山 明彦さん



わたしが  
ボーイスカウ  
トを始めたの  
は8歳の時、  
現在50歳です

から42年のキャリアがあるわけです。制服にあこがれたという単純な理由で入団しましたが、こんなに永く続けられるというだけでも、この活動が魅力的であることが分かるでしょう。

ボーイスカウトの経験者は有名な人にも多く、例えば宇宙飛行士の野口聡一、ミュージシャンではV6の長野博、ドリカムの中村正人、米米クラブの石井竜也、俳優の奥田健一や辰巳琢朗、登山家の野口健、また政界やスポーツ界、お笑い界にも出身者がいます。ここには、それぞれの個性を育てることができる活動があるのです。

よくスカウトと勉強やクラブの両立が難しいのではと言われますが、3年前の卒業生では京大に2名、神戸大に1名、広島工大など、それぞれに自分の夢を持って大学進学を果たしています。

また、この後で登場する大森君や山下君のように大学生であ

り、団員である人も大勢います。18歳でさらっと奉仕活動ができるのは、ステキなことでしょう。

### 奉仕活動から未来を考える

ローバースカウト  
大森 雄仁さん



現在、川崎

医療福祉大学の学生です。療技術部で感

覚矯正といて、言語障害や聴覚障害のリハビリの勉強をしています。

スカウトの活動の一つで、敬老会の慰問など、老人ホームにボランティアに出かけています。これも今の道に進む、一つのきっかけになっています。

そこで、車いすに座っている人が、とても楽しそうに話しているのを見て、人として幸せに生きていくためには、コミュニケーション能力が大事だと気が付きました。ですから、それを取り戻すお手伝いができればと思っただけです。

スカウトには小学校5年、11歳の時に入団しました。親から「普段の生活では体験できないようなことがいろいろできるよ」

と進められました。

実際に入団して、県北にキャンプに出かけたり、しまなみ海道を自転車で渡ったり、本当にいろいろな経験ができました。

### 活動の中で人間関係を学ぶ

ローバースカウト  
山下 慎也さん



岡山の理科大学の学生です。所属は総合情報学部。ボーイスカウトへの入団は小学校6年、12歳のころです。

実は大森君の近所で、大森君が先に入団したのは知っていたのですが、最初はボーイスカウトに抵抗を持っていました。というのは、入団を進める父に反発していたんですね。ですから制服も好きではありませんでした。

でも、実際に活動をしているのを見て、これは悪くないなと思ひ直しました。やはり、普通ではできない体験ができるのが魅力ですね。例えば、高校2年のときに1週間ほど、ジャンボリーという全国大会に参加したことがありました。1週間、石

川県でキャンプ生活を送りましたが、活動だけでなく人間関係でも、いろいろ苦労もあり、学ぶことが多かったですね。

### 貴重な思い出がいっぱい

ベンチャースカウト  
馬場 あゆみさん



今は高校2年でベンチャー隊に所属しています。入団

は小学校入学前に、通っていた幼稚園で紹介されて、ピーバースカウトに入りました。

その年齢、年齢で貴重な体験ができ、とっても楽しい思い出がたくさんあります。山や海へ出かけて、自然の中での体験はステキです。牛窓でヨットに乗り、川でカヌーをしたり、つい最近も愛媛県の西明石山で登山体験をしました。体力に自信があるわけはありませんが、みんなで行動すると、楽しくてもできるような気がします。仲間がいるというのが一番ですね。それも、世代を超えて一緒に行動するのが貴重な経験になります。例えば、ボーイスカウトなら、女の子だけの一つの班だとしても、小学校5年生が



ら中学生まで数人のメンバーがいて、指導をしてくれるのはそれより年上の先輩たちです。

いろんな話を聞いたり、年下を思いやったり、みんな本当に仲がいいんです。

ちなみに、ボーイスカウトといっても、女の子もたくさんいます。キャンプなどで、いろんなおしゃべりができるのも、楽しいですよ。

### 充実した休日の過ごし方

保護者 宮本まどかさん



入団のきっかけは、上の娘が小学校1年の時でした。家では、

主人が仕事の関係で平日が休みになります。そこで、週末はわたしが、子どもを山へ連れて行ったり、マラソンをしたり、一人で懸命にがんばっていました。

そんなある日、山の上で偶然にボーイスカウトの一団と出会ったんです。わたし一人で頑張らなくてもいいんだと気づき、すぐに入団。イチゴ狩りに行ったり、タマネギの収穫やイモ掘りなど、家族だけでは体験しに

くい行事も多く、入団して本当に良かったと思っています。



入団以前は、休日になると子どもたちが朝早く起きて、「どこかへ連れて行ってよ」とせがまれてばかりで、どうしようかと迷っている内に、街に出かけては、物ばかりねだられて、お金がなくなるだけという、むなししい一日になることがよくありました。

それが、ボーイスカウトに出かけるようになって、それに合わせ宿題も済ませ、準備をして、リズムのある休日、はりのある一日を過ごすことができるようになったのです。ここでは、自分だけの枠で育てるより、何倍も豊かな子育てができます。親の視線も広々として、子育てに余裕ができました。例え勉強とは直接つながらなくても、大切な心を育てることができるとです。

### 子どもの可能性をのばす

保護者 中山吉子さん



わが家では、幼稚園の年長の時に、小学校から配布されるパンフレットでボーイスカウトの説明を知りました。以前から、いいものだという印象があり、入団させたいと思いながら、きっかけがないという状況でした。ですから、お話を聞いてすぐに入団しました。

現在、カブ隊に小学校4年の息子が所属し、ビーバー隊に小学校2年の息子が所属しています。2人とも小学生ですが、いろんな大人の人が周りにいて、子どもたちを見守って注意してくれるので、ありがたいですね。知らず知らずのうちにいろんな人から、いろんな考え方を吸収してくれそうです。

入団して、親だけでは気付かない面も、いろいろあることに気がきました。1人で育てるよりも、大勢で育てる方が、子どもの可能性を何倍も伸ばせると思います。活動の記録を写真に残し、プ

ログでアップしているのですが、ボーイスカウトのときは、子どもの表情が違います。ほんとうに生き生きして、輝いているんですよ。この真剣な眼差しや笑顔を見ることができただけでも、入団して良かったと思います。

### 楽しみながら親子で学ぶ



指導者 木村 扶美さん  
息子がカブ隊に入団したときに、

わたしもリーダーにという要請がありました。お世話をする人数も足りないようでしたので、お手伝いをする事になりました。今はビーバー隊の副長という立場です。息子が入団したきっかけは、

幼稚園のお友達のおすすめでした。最初は、ビーバー隊に加入しましたので、まだ子どもが小さく、送り迎えはもちろん親も一緒に参加しなければなりません。というところ、不安を感じる方もいらっしゃるかも知れませんが、要は子どもさんと一緒に楽しむべいいいことです。保護者どつしておしゃべりをし

んのストレス解消の場にもなっています。それも、カブスカウト以上にすれば、主に指導者と子どもたちの活動になりますので、親子同伴は振り返ればわずかな期間でした。幼稚園や学校以外では、毎日べったりとなってしまう親子関係が、ある意味、ここに来れば距離を置いて、わが子を見ることのできるのも、良い結果を生んでくれるのでは。

ここに来ると、子育てに関して勇気づけられることが多く、また、子どもたちから元気をもらって帰ることが幾度もあります。

ボランティアで活動のお手伝いをしていきますが、その日の夜は顔を洗って、お肌のつやまで良くなっているんですよ。親も子どもも生き生きできるのが、ボーイスカウトなんです。

スカウトの中では決められたルールを守って活動をしなければなりませんので、自然と協調性や社会性が身に付きます。子どものしつけや礼儀作法、年配の方への言葉遣いや思いやりなど、不安を抱いて子育てをしているお母さんも多いのではないでしょうか。

ボーイスカウトでは、子どもさんにはもちろん、親も教えられ成長できるというのが心強いですね。

## 家族そろって ボーイスカウト

指導者 原裕昭さん



わが家には3人の息子がいますが、一番下の息子がサムエル

幼稚園に入園したのが、ボーイスカウトに入団するきっかけでした。上の兄たちも、続けて入団しましたが、長男はカブやボーイ隊の経験もなく中学3年生からベンチヤースカウトに入団し、現在はリーダーを務めています。

ボーイスカウトには、それぞれに育成団体というのがありますが、西大寺第5団に限って言えば、育成団体は西大寺キリスト教会。わたしたち家族は教会に来るようになったことで、家族全員がボーイスカウトにかかわるようになりました。でも、念のために申しますと、キリスト教徒でなくても西大寺第5団に入団できます。例えば、ビーバー隊の半分はクリスチャンではありませんので、みなさん気軽に参加してください。ちなみに、わが家の場合、三男は団体活動が特に好きではありませんでした。活動に興味があったのではなく、友達が入団するのに引く張られ一緒に入ったよう

です。それでも、入ってみれば親に言えないようなことでも仲間同士で相談し、家族とはまた違った大事な人間関係が生まれ、いろいろと楽しい思い出が残ったよつです。

年齢の違う子どもたちとふれあうことで、学ぶことが多く、規律や行儀作法も知らぬ間に身に付いていくようでした。そういう意味で、子育ても楽しめたね。ですから、あまり先入観を持たずに、見学や体験入団をするのがおすすめです。

わたしの場合は、子どもたちに付き添って保護者として参加している内に、どんどん力が入ってきて、夫婦で講習を受け資格を取って指導者になりました。



(取材・文/福家富美子)

小学校入学前の9月から誰でもはじめる事が出来ます！

## 見学・体験

してませんか？



お問い合わせは下記まで。お気軽にお電話ください！

待ってるよ!!



ボーイスカウト日本連盟  
<http://www.scout.or.jp/>  
☎ 0120-333159

日本ボーイスカウト岡山連盟  
<http://www.momonet.jp/boy-scouts/>  
☎ 0865-42-3140

### □岡山連盟第1地区

岡山第4団・岡山第17団・岡山第23団・岡山第24団・岡山第26団・赤磐第2団・西大寺第1団・西大寺第4団・西大寺第5団・都窪第2団  
事務長 / 柴田智文 TEL(086)943-5005 FAX(086)943-7621 Mail / bs3301office@mx36.tiki.ne.jp

### □岡山連盟第2地区

倉敷第14団・倉敷第16団・児島第1団・総社第3団・玉野第1団・玉島第5団  
事務長 / 杉本典一 TEL(086)423-0305 Mail / cub\_sugi@ms11.megaegg.ne.jp

### □岡山連盟第4地区

津山第1団・真庭第3団  
事務長 / 木多琢二 TEL(0868)-26-0531 Mail / kita-317@mx1.tiki.ne.jp

### □岡山連盟第3地区

浅口第1団・浅口第2団・浅口第3団  
事務長 / 岡本明広 TEL(0865)-42-7168 Mail / okamoto713a@cnknet.jp

### □岡山連盟第5地区

高梁第1団・新見第1団  
事務長 / 山田貴雄 TEL(0867)-72-2730 Mail / konkonimi@mx3.tiki.ne.jp



## profile

ボーイスカウト岡山第23団

やまがた

たもつ

山縣

保さん

外遊びが大好きで子どもが大好き。三男一女の父親で長男が5年生の時に親子で共に出来る取り組みを求め、ボーイスカウト岡山第23団で活動を始めて15年目。現役指導者。昭和29年3月生まれ牡羊座。

## 自然の中で子どもを育てる

### 子どもに出来る事は子どもにさせる

ボーイスカウト活動のお手伝いを始めて15年になりますが、それ以前はファミリーキャンプに行っていました。家庭と違った環境の中で時間に追われることなくゆっくりとしたひと時をすごすことが出来ますね。自然の中で家庭では出来ない体験をさせたいですよ。日中はトンボやバッタを追いかけ、疲れたら草の上に寝ころがる。自然の香りが全身を包んでくれます。一息入れたら夕食作り、ファミリーキャンプの主演はなんとといってもあなたの子どものことです。特別手の凝った献立ではなく『自分で作った』満足感を与えてあげたいですね。そのためには「子どもに出来ることは子どもにさせる」最初から私たち大人と同じように出来る訳がありませんよね。出来なかったことをしかるのではなく、出来たことを褒めてあげる。「すごいね。良くできたね。」その一言によって子どもは大きく伸びていくのではないかな。実は私自身最初のファミリーキャンプでは恥ずかしながら炭に火を点ける事が上手く出来ませんでした。

子育て、実は子どもを育てているのではなく自分自身の向上により子どもが成長していくのかな。最近そんな気がしてきました。



ボーイスカウト岡山第23団  
団本部

〒700-0011 岡山市学南町2-7-50  
TEL 090-3376-9893



## profile

なかむら

ゆうさく

中村法律事務所

中村 有作先生

## 子どもが事故をおこした！ その対処方法

多動障害を持つ娘がいます。先日、保育園で暴れてしまい、その時にお友達に入院をするほどの大怪我をさせてしまいました。園の方へは娘が多動障害があると言うことは伝えていました。

注意欠陥、多動性障害は、不注意、衝動性を症状の特徴とする発達障害の一つと言われています。このケースの場合、あなたのお子さんが友達に大けがをさせたとしてもあなたのお子さんに責任を負わせることはできません。あなたも保育園にお子さんが多動障害である旨告げていたということですから特段責任を追及されることはないと思います。この場合、保育園としては相当程度の注意を尽くす必要があるところ、あなたのお子さんが保育園児であることからするならば、大けがをさせる前に何らかの回避措置をとれたであろうと思われます。保育園側に落ち度があり、損害賠償責任が発生すると思われます。

駅の階段で5歳の息子が女性とぶつかり、その女性が階段から落ちて大けがをいたしました。息子の責任は？どのように対応すべきでしょうか。

息子さんが駅の階段で女性とぶつかったとのことですね。階段で人と人がぶつかることはよくありますが、今回は、相手の女性が階段から落ちて大けがをしたということで大変なことになってしまいましたね。あなたのお子さんは5歳ということですので、民事上責任能力がないので、支払義務はありません。親であるあなたの監督責任が問われます。今回の事故がどのような状況で発生したのかわかりませんが、子供さんが長時間ぶざけていた、あるいは猛スピードで走っていた等の事情がありながら、親であるあなたがこれを放置したということになれば、あなたは監督者として責任を果たしていないので、賠償責任を負うことになります。ただ、相手方は成人の女性ですので、事故の状況いかんによっては相手方にも過失が認められ、損害賠償が一部減額される可能性があります。

中村法律事務所

〒700-0936 岡山市富田町2-8-12  
TEL 086-223-1751 FAX 086-226-1205